

第4回 熊本市市民公益活動支援基金運営委員会会議録概要

日 程：平成24年9月24日（月）14：00～17：30

場 所：熊本市総合保健福祉センター・ウェルパルクまもと 1階 大会議室

出席者：明石委員長、前田副委員長、木下委員、水野委員、宮本委員、
平塚委員、石櫃委員、一般傍聴者（12名）

事務局	ただいまから、分野指定助成事業公開プレゼンテーションを始めさせていただきます。 まず、最初の団体は、受付番号1番 NPO 法人日本防災士会・熊本県支部さんお願い致します。 受付番号1番 「NPO 法人 日本防災士会・熊本県支部」 【事業名】私たちは、助けられる人ではなく、助ける人になって、大切な人を守ります 10分間のプレゼンテーション それでは、運営委員の皆様からの質疑に移ります。 質疑の時間は、5分です。 質疑の時間は、委員長にマイクをお渡しします。宜しくお願い致します。
明石委員長	委員の皆様、限られた時間ですので、どなたからでも結構です。 ご質問等ございましたら、宜しくお願いを致します。
前田副委員長	助成金を受けられて、その金額を何に使いますか？ 講演会をするのか、勉強会をするのか説明してください。
NPO 法人 日本防災士会熊本 県支部	私たちは、年間6回ぐらい防災士会の理事会等を開いております。 会員数は、県下に44名います。理事11名を構成して、年間4回程の理事会を開催しております。その時に、各種団体から協力をいただいて、講習会とか勉強会を依頼し、その時のお礼として使わせてもらいたいと思います。
明石委員長	他にご質問はよろしいでしょうか？ それではお聞きします。 「団体や個人のネットワークづくりが有効です。」というお話ですが、防災士会さんとしては、防災士同士のネットワークは当然あると思いますが、先ほど言われていた各種団体の協力を得ながらの講演や講師をし

	てもらおうという話は、具体的にそのネットワークは、どういう風に広げていこうとしているのか、その辺りをもう少しお聞かせいただけますでしょうか。防災士以外の他の団体とのつながりです。
NPO 法人 日本防災士会 熊本県支部	熊本県でも、ひのくに防災について防災リーダーの講習会をやっていて、修了者には防災リーダーという名称を与えています。 その中で、防災士を取得して、防災士の活動に参加していただける方は、非常に少ないですが、結局、地域の防災活動のリーダーになっていただいています。できるだけ、その人たちとのネットワークやつながりをつくりたいと思っています。 防災士の登録をするのに難しいことは、本部の方に毎年 5000 円を納めないといけないということです。そして、県内や熊本市内で活動するときの活動資金を得るのが非常に難しいので、結局皆さんには全てボランティアでやっていただいております。 もう少し、地域の防災リーダーの人たちに呼びかけて、活動の輪を広げていき、防災、経済対策に繋げたいのですが、その辺の活動資金が無いので非常に困っています。 できれば、そういう活動資金ができると地域の防災訓練などに参加する際の活動資金として使えると思っています。
明石委員長	ご質問よろしいでしょうか？ それでは、時間となりました。お疲れさまでした。
事務局	続きまして、受付番号 5 番うえき自然塾さん。 ご準備をお願い致します。 受付番号 5 番「うえき自然塾」 【事業名】子ども達に自然環境を大切にする心やたくましく生きる力を育成する親子野外体験活動 10 分間のプレゼンテーション
事務局	ありがとうございました。 それでは、運営委員の皆様からの質疑に移ります。
明石委員長	それでは、委員の皆様からご質問等ございましたら、宜しく願いを致します。
木下委員	本当に、子どもも親も楽しめそうな塾だと思います。 この自然塾は、会員になって熊本市内から現場に集合するということなのですか？
うえき自然塾	最初は、なかなかわかりにくい方もいらっしゃいますので、去年道沿いに大きな看板を手作りで作りました。

第4回基金運営委員会会議録概要 H24.9.24

	それでも、まだまだ難しいところもありますので、そういう時には詳しく連絡を差し上げておいていただいております。
木下委員	これは、何かに広告を出されているのですか？ 皆さん、知らないと思うのですけど。
うえき自然塾	ほぼ、ロコミでございます。 ロコミで、どんどん人が集まります。多い時には、180名くらい来られて、いっぱいになります。通常は、だいたい60から70名くらいです。 自然の中なのであまり人が多くなると、手が届かなくなり危険性もありますので、あまり大々的には広報をしておりません。 ただ、時々新聞とかテレビで紹介されると、その時にパッと来られますが、あまり積極的にはPRをしておりません。
平塚委員	参加される方は、植木地域の方が中心ですか。
うえき自然塾	いいえ。熊本市、いわゆる旧熊本市からも来られます。もちろん植木町内も来られますし、玉名や合志や西合志など市外の色んな所から来られます。それから、学校単位やPTA活動で来られる方もいます。 PTA活動で、レクレーション活動っていうのがありますので、その団体で来られることもあります。
宮本委員	単純なことですが、7月に田植えがあるのに、稲刈りは無いのでしょうか？
うえき自然塾	内容全部は載せられなかったもので、いくつかを載せているんですが、実は、残念なことに昨年度田植えをしたら、イノシシに全部やられてしまいました。なので、今年は田植えをしませんでした。
明石委員長	他、委員の皆様方ご質問よろしいでしょうか？ それでは、特に無いようですのでご説明ありがとうございました。
事務局	受付番号8番 「さわやかボランティアーズ」 【事業名】昔から遊ばれている「伝統の遊び」と昔から伝承している行事を地域の子供等に普及と指導をする 10分間のプレゼンテーション
事務局	それでは、選定委員の皆様からの質疑に移ります。 質疑の時間は、5分です。宜しくお願い致します。
明石委員長	ご質問等ございましたら、宜しくお願いを致します。

第4回基金運営委員会会議録概要 H24.9.24

水野委員	今までにも、助成金を活用して活動というのはありますか？
さわやか ボランティアーズ	ほとんど無いです。ほとんど自分たちの手出しです。 色んな意見聞きますと、「キツイめにあって、お金まで出してやるのは、ちょっと大変」という風な意見でございます。
水野委員	なかなか、ボランティアの難しいところですね。 今回、あえて助成金に申請されて、助成金を活用することによって、メンバー1人ひとりにも関わってくると思いますが、皆さま方の活動が、どのように、広がって活用されると思いますか？
さわやか ボランティアーズ	助成金をいただくことで、催し物の準備をする材料が増えたり、色んな物を工夫してみようということがあります。 だいたい、一班に5000円くらいです。材料代が高いものは、高くつきますので、それを抑えてやるなどです。 今回、助成金8万円をお願いしている事業は、「さわやかボランティア祭り」だけです。もちつきなどを入れると、米代などが増えます。この分は、会員さんから参加費として1000円や500円を徴収しています。
石櫃委員	事業の開催頻度は、年間、何回ぐらい開催されていますか？
さわやか ボランティアーズ	「さわやかボランティア祭り」が年1回あります。もちつき会も同じです。それから、さわやか長寿財団が開催する「囲碁将棋」「シルバー作品展」「シルバースポーツ大会」などの受付や駐車場整備などをしています。 また、ハートフルパスの敬老活動もしていて、述べ70人ぐらい参加しています。だいたい会員中心ですが、最低でも一人当たり年1回は、参加しています。
宮本委員	会員の方は、やはり、男性の方が多いのですか？
さわやか ボランティアーズ	いいえ。さわやか大学というのは、60歳以上の方が入学できる、一年間の講習です。だいたい半々ぐらいです。さわやかボランティアーズは、男性が6割、女性が4割ぐらいで、女性がちょっと少ないです。なぜかと言いますと、「お金を出さないといけない。仕事をしないといけない。後片付けをしないといけない。」などの理由があり、女性の方からは、「たいへんで、きつい。」ということで脱落者が出ます。
明石委員長	1点お尋ねをさせていただきます。 先ほど、ご紹介いただいたような、色んな昔遊びを、60前後の人は、案外知らなかったり、自分自身もやったことが無い遊びも、結構多いと思います。それを子どもさんへ伝えるためには、どのようにされている

	のですか。会員の中に昔遊びに詳しい方がいて、会員はその人から教えてもらったりされているのですか？
さわやか ボランティアーズ	会員の中で詳しい人が教えます。 一般の竹細工、マイ箸づくりなどは竹を切ってきて、それをたたき割り、削るところですから、周りから見ればゴミだらけになり一番地味で面白くありません。けれども、一生懸命やったら箸ができるということです。折り紙など色んな遊びも、最近、子どもさんがやらなくなったビー玉などもやりたいのですが、自分たちがやれる範囲でやっています。 肥後竹駒回し、肥後ちょんかけこま回しなどは、その協会の人に来て、演芸として披露していただいています。 それから、南京玉すだれなどは会員の中で行っています。 南京玉すだれは練習をします。 知恵袋という講習がありますので、そこで、私は南京玉すだれを習って、それを教えるというか、体験をさせていただいています。
明石委員長	それでは、丁度、お時間となりました。
事務局	続きまして、受付番号 11 番 下通繁栄会女性部さんですが、辞退のお申し出をいただいておりますので、次に進ませていただきます。 受付番号 12 番 「くまもと発達支援親の会「めだか」」 【事業名】発達障害の子ども達の感覚統合「めだか療育」 10 分間のプレゼンテーション
明石委員長	それでは、委員の皆様方、ご質問等ございましたら、宜しくお願いを致します。
宮本委員	現在、会員は 14 名ですか？
くまもと発達支援 親の会「めだか」	いいえ。全部では、熊本市、熊本県全体でおりますので、そちらの名簿に挙げているのは熊本市の会員になります。
宮本委員	市内には、何名ぐらいいらっしゃいますか？
くまもと発達支援 親の会「めだか」	「名前を出さないでください。」って言われる。親戚とか、いろいろいらっしゃいますので、それで、名簿は 10 人までしか提出をしておりませんが、全部で約 40 名の会員がいます。それに兄弟がいます。 兄弟でも、診断名が付いている兄弟と診断名の付いてない兄弟がいますので、会員といわれる人数は、親の数で言うと 40～50 名になります。
宮本委員	診断は、学校に入る前になりますか？

くまもと発達支援 親の会「めだか」	うちの子は、小学校5年生の夏休みでした。小学校1年生の時から、担任の先生は、毎年、毎学期、校長先生の前で、「通知表が付けられません」と、泣き崩れておられたそうですけれども、親には何にも伝えがなくて「ちょっと人より、倍時間がかかる子だね。」という、慰めの言葉と「大丈夫よ。男の子はこれぐらいのものよ。」と言われました。今は、35歳とか、大学卒業して、就職してから診断名が付く方がたくさん増えています。それに、今、めだかの会でも、就学前ということはほとんどありません。
宮本委員	たとえば、幼稚園とか保育園とか行っている場合は、保育士さんとかからはアドバイスなどはないのでしょうか？
くまもと発達支援 親の会「めだか」	保育士さんや学校の先生から、一番多い講演会での質問が、「おやごさんが気付いていらっしやらない場合『子どもさんに、どうも障害があるみたいだけれども』と尋ねていいものでしょうか。」という質問が、毎回出ます。やっぱり、親は一生懸命見てくださっていると思っている先生から「他の子と違うよ。」って言われることほどショックなことはないです。 その辺が、なかなか難しいところです。 不登校や自殺騒ぎなどが起こると、すぐ診断に結びつくのですが、うちの子も「死にたい」というところから診断名をいただくことになりましたので、二次障害というものが重く出てからということがたくさんあります。まずは、精神疾患の病名がついてからということも多々あり、小学校に上がるまでに診断名が付いた人でも、小学校に上がってからのこの感覚統合の療育の場が十分に無いというのが現状です。
木下委員	皆さんで合流されたときに、仲間として皆さん仲良く過ごされていますか？
くまもと発達支援 親の会「めだか」	他人の心をくみ取る力がすごく少ないタイプなのですが、私たちが感覚統合の療育の場だけで、将来に向けての全てが培われるとは思っていません。ただ、当事者会というのが、今は熊本市内にも立ち上がっていて、その時一緒に療育を受けた友達が「あっ、あの子は僕と一緒に、療育をめだかで受けたなあ」って思い出してくださいました。 その時に、お互いの人間関係性が最初からではなく、それは、2年か3年、あの人と1年間、毎月会っていたなあ。という人たちと関わりが取れば、やはり、コミュニケーションの問題が多いので。 ただ、中には、すごく仲良くなって、別の高校に行っているのに、光の森とかに遊びに行くなどお友達関係も割と出来上がっていて、それは、私たちがこの療育をしいて一番嬉しい事です。

第4回基金運営委員会会議録概要 H24.9.24

明石委員長	それでは、時間となりました。どうもありがとうございました。
事務局	受付番号 20 番 「NPO 法人成年後見安心サポートネット熊本」 【事業名】 成年後見申し立て支援および後見人受任の無料相談事業 ならびに広報啓発事業 10 分間のプレゼンテーション
明石委員長	それでは、ご質問等ございましたら、宜しく願いを致します。
宮本委員	無料相談の曜日が、平日になっているのですが、平日は相談に来られない場合があると思います。私も平日は相談にお伺いは出来ないのですが、日曜日とか土日祝日という日程は予定にはありませんか？
NPO 法人 成年後見安心 サポートネット 熊本	今は、特に予定としては考えておりませんが、事務所の方に事前にお電話をいただければ、土日であっても私たちは事務所に行って、ご相談に応じる意気込みはございます。
宮本委員	その場合も、無料なのでしょうか？
NPO 法人 成年後見安心 サポートネット 熊本	もちろん、無料でやっております。
前田副委員長	助成金の主たる支出は広告費ですか。 広告費のほかに、謝金など、そういうものがあるならば、それはどなたを呼んで、どういう講師や講演などをされるのですか？
NPO 法人 成年後見安心 サポートネット 熊本	先ほど少しお話ししましたように、広報費は、熊日のタウン PACKET というものを利用して、やっていきたいと思っておりますけれども、11 月から残りの各月の 5 か月分を、今お願い致しております。 それから、報償費というよりも、むしろ、相談員の交通実費ですが、これは、私たち会員が 4 名くらいで、だいたい 2 班に分かれて対応をしておりますけれども、その方々への交通実費ということで考えております。
明石委員長	ご質問はよろしいでしょうか？ それでは、1 点お尋ねをさせていただきます。 最後のご説明では、認知症の方が、全国で 300 万いる中で成年後見制度を利用している方は、2 万人と非常に、利用者が少ないということで、そのために「広告に力を入れる。」ということですが、これは、全国的に、

	どこも低調なのでしょうか。それとも、大都市地域はもう少し多いのか？ 地域の特性みたいなものはあるのでしょうか？
NPO法人 成年後見安心 サポートネット 熊本	やはり、全国的にこのような状況です。 私自身も、このボランティアに入る前までは成年後見制度という名前は、知っていましたが、現実には、どうやっていくのかなあ。というのは、全然わからない状況でここに入ってきました。 きっと、市民の皆さん、県民の皆さんはそういう状況なのだろうと思っています。 本来であれば、国あるいは法務省がもっともっと努力すべきではないかと思っていますが、今のところあまりそういう姿も見えてきません。 自分たちで、コツコツとやっていかざるを得ないと思っています。
明石委員長	それに関連してですが、例えば、相談にお越しになった方が、その成年後見の制度を利用する、パーセンテージというのは、どのくらいなのでしょう？単なる相談だけで、制度を利用する所まで行かない方も、当然おられると思うのですが、相談して、利用するようになった方もおられると思いますので、お聞かせください。
NPO法人 成年後見安心 サポートネット 熊本	やはり、相談者で、利用まで行かれた方々は、わずかです。 パーセンテージで言うと、10パーセント未満ぐらいではないかと思います。
明石委員長	それでは、時間となりました。
事務局	受付番号 23 番 「NPO 法人 しらさぎ」 【事業名】西原村下草刈り 10 分間のプレゼンテーション
明石委員長	それでは、ご質問等ございましたら、宜しく願いをいたします。
前田副委員長	写真の中で子どもさんがたくさん出てる写真がありましたが、この子どもさん方は、どんな子どもさんで何人ぐらいいらっしゃるのですか？
NPO法人 しらさぎ	社員の子どもたち並びに孫たちでございます。 この時は、植林の時で 30 名ほど来ていただきました。
宮本委員	社員の方の子ども、社員の方だけしか参加できないのですか？ 例えば、私が参加したいと言った場合参加できますか？
NPO法人 しらさぎ	大いに、お願いしたいところです。 今までは、どちらかと言うと社員ならびに社員の家族に声を掛け、PR

	不足でした。これからは、もっと一般社会の方々にも、声を掛けなければいけないと思っていますし、近くの託麻、東部小学校の方々が、よく会社訪問、屋上緑化並びに太陽光発電などの見学に来られるんです。その時に「こういうことをやっておりますので、参加されませんか？」という声掛けを今やっています。
明石委員長	それでは質問します。 今のご質問に関わってくるのですが、もともと白鷺電気工業さんの取り組み。どちらかというと CSR の取り組みの一つかと思うのですが、それが、NPO 法人になったという事は、企業の枠内を離れてもう少し幅広く、いろんな人に参加してもらいたいということで、NPO にされたのでしょうか？
NPO法人 しらさぎ	おっしゃる通りです。まず、CSR が第一でしたけれども、やっていく中で、やはり広報活動をして一般の方々もどんどん参加できるようにと、石垣の清掃は、専門的な事なので私にもできませんし、技術を持った職員が体に荷物つけて、登ったり下がったりはできませんけれども、地上から届く範囲の石垣の清掃。あるいは、西原の植林活動など、まずは、安全を優先しながらやれる活動です。白鷺電気のホームページに、宣伝を入れておりますけれども、独自にもう少し皆さん方にもお知らせしながら広報活動をして広げていければという事で、NPO として行っております。
明石委員長	それでは、時間となりました。
事務局	受付番号 30 番 「城下町和 samon もてなし隊」 【事業名】城下町新町・古町地区の観光客誘致のための 受入態勢整備事業 10 分間のプレゼンテーション
明石委員長	ご質問等ございましたら、宜しく願いをいたします。
前田副委員長	活動は、大変よくわかりました。ありがとうございました。 審査の趣旨は、パンフレットということだったと思いますが、どのようなパンフレットを作ろうと思われていますか？外国人向けなのか。それとも、食べ物屋の紹介なのか。イベント紹介なのか。コースの紹介なのか。地図なのか、パンフレットなのかどういふものを、何部お作りになってどこで配るのかをお聞かせください。
城下町和 samon もてなし隊	メインとして考えていますのは今の地図のパンフレットです。 地図のパンフレットを熊本駅とかいろんなところにもっと置きたいとい

	う風な気持ちがございます。 それと、韓国の方向けと中国の方向けのパンフレットも作りたいと思っております。去年、市長が韓国に行かれた時に、和 samon もてなし隊の旗を持っていたいで、韓国でも少しアピールをしていただきました。我々もハングルを勉強しております。まだ、ハングルでの案内というまではいっていませんけれども、少しでも片言でも話ができるようにという風なことでハングル勉強会なども開催をいたしました。 また、中国の方へも上海事務所などに少しでも置いていただければという風に思っております。基本的には、地図をメインとしたパンフレットを作りたいと考えております。
宮本委員	こちらの地域の皆さんがまとまって、こういう活動が出来ると思うのですが、他にも熊本にはたくさん歴史のある地域はあると思います。 いくつかシャッター街になっているところもあるのですが、そういう方たちがどうやったら、まとまってもっと活性的な活動が出来るのか。何かアドバイスというかございませんか？
城下町和 samon もてなし隊	シャッターの話が出ましたが、まずは、とにかくシャッターに絵を書こうということで、絵を書きました。このシャッターが下りている時でも、まち案内が出来るようにしようと。こういう場所はどういう場所だったのですよ。ということをシャッターに絵を書くようにしましたけれども、基本的に小学生や中学生の授業にお邪魔します。そして、地元のことを少しでも解っていただけるまち案内をします。先週中学1年生を200人ぐらいまち案内しました。 地元のことを知らない、地元のことに誇りが持てなくて、地元を自慢できない、というように少しでも地元のことを知ってもら。私は、幼稚園の年長さんにも、まち案内をやっています。ずっと案内をして少しでもそういう機会を増やす。 あと、よくいつも言われるのは、「よそ者、若者、バカモン」で、とにかく分け隔てなく誘います。地元には、マンションがいっぱい、家も建っています。マンションに来た方にも必ず出てきやすい環境をまずは作ろうと思っていますし、その中で、何人かぐらいは地域のことに興味がある方がいらっしゃる。そういう方は、結構動いていただけます。 ですから、子どもたちも全部取り込んで、バカモンの私たちが少しでも、広報出来ればという風に考えてやっております。

明石委員長	それでは、1点お尋ねをいたします。 私も新町、古町を歩いて良いところが沢山あるなあ。というのは、気が付いたのですが、意外と学生に聞くと知らないです。 だいたい、学生の年恰好の人たちが知らないでいるというのはあまり今まで教育現場などでは伝えていないからなののでしょうか？ どうすれば、その若い人たちがまちを知るようになるのか。 その辺りの取り組みとして、もし何かありましたらお教えいただければと思います。
城下町和 samon もてなし隊	私は、中学、高校の時にだいたい漫画から入ります。 例えば、るろうに剣心という映画がありましたけれども、るろうに剣心のモデルは日村抜刀斎という漫画の主人公が、河上彦斎という、幕末4代人切りの一人です。この方が生まれたのが一新校のすぐ横です。 こんな身近に、こういうことがあるよ。という漫画から入ったりすると、ワンピースっていう漫画が今ありますけれども、ワンピースの作者は、もちろん、春日の尾田栄一郎さんですけども、その方の漫画の中に、「歴史とは、知識である。」という風な言葉が出てきます。 そういう風なところをコピーさせてもらいながら、授業の中で使ったりしています。とにかく少しでも興味を持っていただけるような話。 でも、幼稚園の年長さんたちには重箱ババァーの話や高須の大工ぜんぞうの話など、そういうおとぎ話みたいな話から入っていきますし「地元にラストサムライのモデルになった場所があるよ。」など、そういうみんなが知ってるところから少しでも入っていけるような。 ちょっと糸を手繰り寄せながら、少しでも解っていただきたいという風なことで行っています。
明石委員長	それでは、時間となりました。
事務局	これで、全てのプレゼンテーションが終了いたしました。 引き続きになりますが、明石委員長から総評をお願いしたいと思います。
明石委員長	皆様、本当にお疲れさまでした。 本日は、いろんなご説明やプレゼンテーションを聞かせていただきました。いい勉強をさせていただきました。 今回、市役所の方は応募があるかとかなり心配をしていたと思いますが、予想に反してというか、予想どおりというか、非常にたくさんの応募があり、こういう形でプレゼンテーションをしていただけたということとはとてもよかったと思っています。

	本日プレゼンテーションを行っていただきました、それぞれの団体の内容を一言で言うと、やはり地域におけるつながりの再発見でありますとか、新しい公共という言葉も使われておりましたが、とにかく地域の課題、東日本大震災の例をとっても、地域の課題、色んな問題、今、日本はそういう問題が山積みになっていますが、そういうものを行政、役所の力だけで解決できるわけではありませんので、色んな地域の企業であるとか、NPO であるとか、あるいは、市民住民の連携協力、協働そういうネットワーク、あるいは人とのつながりをうまく使うことで、初めて地域の課題を解決できる。まさに、そういう時代になっているわけです。 まさに、色んなみなさん方の活動は、地域の新たな繋がりを想像し、再発見をしていく。あるいは、それを強めていく。そういう風な取り組みの具体的なお説明であったと思います。 聞いていて、こういう取り組みをされているのかということで、大いに期待ができるという気持ちを改めて強く抱きました。 ただ、協働や連携など言葉では言いやすいのですが、ここで意外と難しいのはそれを支える仕掛け、仕組みがないと、なかなか実現できないということです。 今回、熊本市さんの方で、くまもと・わくわく基金という、仕掛け仕組みをお作りになられて、この基金のすごいところは、企業や市民、色んな所からお金を出していただいて、要するに寄附をいただいて、その寄附を元に色んな活動団体に助成をするということです。 新しい公共の別の切り口からいうと、一つの支える大きな仕掛けになるわけですが、そういう、仕掛け仕組みが立ち上がって、今回その第1回目の取り組みということで、今後ますます、この基金が、大きく育っていくことを心からお祈りします。 寄附の方は、金額、まだまだ少ないですが、これがうまく回りだして、色んな形、目に見える形で、市民の皆様方に伝わっていけば、さらに寄附もたくさん集まるようになり、寄附でいただいた資金を元に、色んな活動に取り組みたいという団体さんも増えてくると思います。そうして、非常に、いい循環が始まるのではないかな。という風に考えているところです。 そういう意味で、今日プレゼンをいただきました、それぞれの団体の取り組みというのは、まさしく、今後の発展などに繋がっていくような、大いに期待ができる取り組みばかりであったように思います。 皆さん方、プレゼンの方も、きちんと決められた時間の中で、ご自分たちの取り組みを、きっちり紹介をしていただきまして、その中で、どう
--	--

	いうことをしたいのか。ということも、伝わってくるような、プレゼンをいただいた。という風に思っております。 せっかく熊本市でお作りになりました、この「くまもと・わくわく基金」が、今後、ますます、たくさんの寄附が集まるように動かしていただくとともに、市民あるいは活動をされている団体の皆様方にも、幅広くこういう情報が伝えられて、次の展開、だんだん、年次を追うごとに寄附の額も増え、助成する内容も多彩になっていくという、末広がりな発展をしていくように心からお祈りをいたしております。 そういうことで、本日の講評といいますか、皆様方の取り組みに、いい勉強をさせていただいたという、一言で言うと、そういうことになりましたが、今後に繋がるような、プレゼンテーションを聞かせていただきました。 来年、再来年とこれから、ますます今後の展開に期待をしていきたいということで、簡単ではございますが本日の総評にさせていただきます。 ありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。 本日の結果につきましては、10月5日頃までには、各団体に届くように発送を行いますとともに、採択されました団体につきましては、熊本市ホームページで公表を行います。 本日は、ご参加いただき、ありがとうございました。